

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年12月15日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年12月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【富岡消防署立入検査における指摘について】 2022年11月24日に富岡消防署の立入検査が行われ、以下の指摘を受けた。 既設多核種除去設備建屋において、通路横に敷設した配管や仮設足場の手摺りがあるため火災発信機(※)に近づけず、容易に操作が出来ない箇所が2箇所あるため、早急に改修すること。 今後、火災発信機の移設や手摺りの撤去を実施予定。</p> <p>※:火災発信機:火災が発見した人が押しボタンを押すことにより火災を通報する装置</p>	G II	12月9日
2	<p>【5号機計装用圧縮空気タンクのドレントラップの動作不良について】 当社運転員が、5号機計装用圧縮空気タンクの圧力が低下し、予備機が自動起動したことを確認。 現場確認の結果、空気タンクのドレントラップ(※)の動作不良により、空気タンクにドレン(水分)が溜まっていることを確認したことから、ドレン抜きを実施。 ドレン抜き後は、圧力の異常低下は見られない。 今後、当該ドレントラップを修理予定。 なお、修理完了までは、パトロールにて空気タンクのドレン抜きを実施する。</p> <p>※ドレントラップ:圧縮空気内の水分を捕集、排出する機器</p>	G III	12月10日
3	<p>【5号機計装用圧縮空気圧縮機(B)の電磁弁の動作不良について】 当社運転員が、5号機計装用圧縮空気圧縮機(B)について運転確認を実施したところ、電磁弁の動作不良を確認。 動作不良が確認されたことから、計装用圧縮空気圧縮機を(B)から(A)へ切替を実施。 計装用圧縮空気圧縮機(A)が問題なく運転していることから、系統への影響はない。 今後、当該電磁弁を交換予定。</p>	G III	12月13日